

コロナウイルス飛沫抑制器具: COVID Intubation Umbrella 使用説明書 (Ver.1)

協同組合 HAMING

<重要注意事項>

- ・ 本製品はコロナウイルスを含むエアロゾル及び飛沫を完全に抑制するものではありません。使用にあたっては、個人用防護具 personal protective equipment を着用してください。
- ・ 本製品使用前には、学会によるコロナウイルス感染患者の挿管抜管に関するガイドライン等を熟読してください。例：日本麻酔科学会によるガイドライン「新型コロナウイルス感染症（COVID-19）（疑い、診断済み）患者の麻酔管理、気管挿管について」
- ・ 本製品使用前には、介助者と共にシミュレータ等を用いて予行演習を行い、本製品の用法に習熟してください。
- ・ 本製品は金属製フレームを使用しているため、手術中の電気メス使用により、患者様に火傷が発生する可能性があります。手術中のご使用はお控えください。
- ・ 本製品使用後において、消毒が不十分な場合、交差感染を引き起こす可能性があります。使用後は患者様ごとに、本製品を洗浄し、消毒または滅菌を徹底してください。
- ・ 金属製フレームに寄りかかったり、体重をかけたりしないでください。

<製品の使用目的>

気管挿管・抜管時にコロナウイルスの飛散を抑制します。

<使用方法>

専用袋または、90L透明ポリ袋を天地逆にして、金属フレーム内に入れ、市販の金属クリップを用いて骨組みの外から固定します。ポリ袋の位置設定が決まったら、使用者の手を入れる穴や介助者用の穴を、使用者の使い勝手が良い位置に開けます。

使用後はクリップを外して内面が汚染されたポリ袋をそのまま廃棄可能です。金属フレーム自体は汚染されにくいのですが、感染予防のため、使用後は患者様ごとに、洗浄し消

毒を徹底してください。フレームはステンレス製なので高濃度アルコール消毒や高圧蒸気滅菌など各種滅菌も可能です。

① 使用前準備

1. 消毒の完了した本製品を用意します。



正面から見たところ

2. 専用袋（セッティングが格段に容易となりますので、使用を推奨いたします）または90L透明ポリ袋を天地逆にして、骨組みの中に入れ、市販の金属クリップを用いて骨組みの外から固定します。外側からクリップで固定することで、使用後はクリップを外して内面が汚染されたポリ袋をそのまま廃棄可能となります。



（骨組みが汚染されないよう、ポリ袋を持ち上げるようにして外側からクリップで固定します）

3. 完成図、後ろ側（側面図左面）に少し余裕を持たせるように袋を貼ると、患者様の胸部による干渉が減らせます。



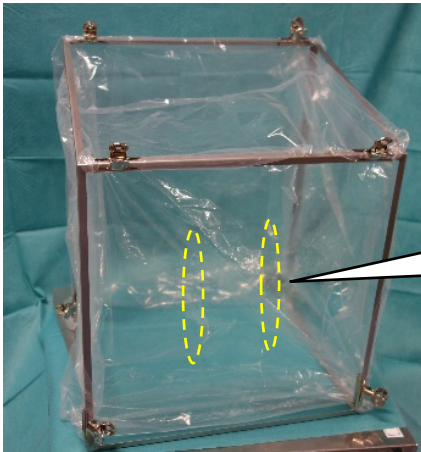
正面



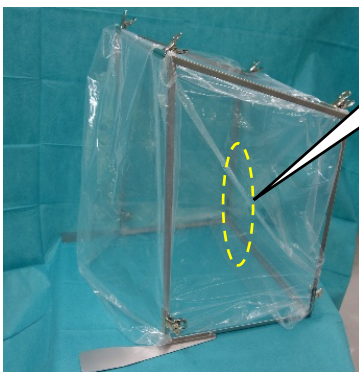
側面

4. 緊急使用時などには、袋を内側から吊らずに、外側からかぶせて固定することで、セッティングの時間を減らすことができますが、骨組みがより汚染されやすくなるので、使用後の洗浄、消毒・滅菌は通常使用より徹底してください。

5. 正面に 2 つ、手を入れる穴（スリット）を設けます。介助を行う方向に一つ介助用の穴（スリット）を開けます。



<正面>



<側面>

カッター等で、使用者の使いやすい位置、大きさの切れ目を入れる

<全体的な 使用方法については下記動画をご参照ください。>

<https://youtu.be/QjbOFFvfHc>

<ポリ袋セット方法は下記動画をご参照ください。>

COVID Intubation Umbrella 専用袋セット方法動画

<https://youtu.be/lXz8I0TnHPk>

COVID Intubation Umbrella 市販ポリ袋のセット方法動画

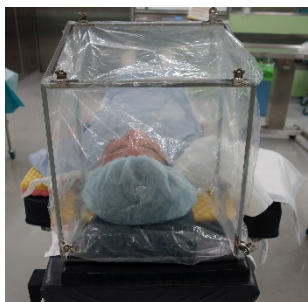
<https://youtu.be/MNrt90dkzFl>

② 使用時

1. 本製品使用時には必ず、マスク、手袋、フェイスガードなどの個人防護具を着用してください。



2. 患者様の頭部に本製品をかぶせ、金属製の羽を患者様の肩の下に滑り込ませることで本体を固定します。この時に患者様の皮膚に直接羽が強く接触しますと、皮膚損傷を起こす可能性がありますので、羽が皮膚と直接接触しないように工夫してください。挿抜管介助者の方向に余裕を持たせてセットすると、操作性が向上します。



右側から介助する場合、右側に余裕を持たせてセットしています。

3. マスクによる酸素投与の際は、マスクと蛇管を介助者用の穴から入れてもらい、必要に応じてマスク換気を行います。

4. 挿管時には、介助者用の穴から喉頭鏡、次いで気管チューブを入れてもらい、挿管します。実使用前に介助者と共に、シミュレータ等を用いて予行演習を行い、手順について確認しておいてください。



5. 挿管終了後、本製品を取り外して手術を行います。本製品は金属製のため、手術中の電気メス使用により、患者様に火傷が発生する可能性があります。手術中のご使用はお控えください。

6. 抜管前に、本製品を再び患者様の頭部にセットします。抜管は本製品の中で行い、汚染された気管チューブは本製品の外には出さないでください。抜管後、外側のクリップ固定を外して、袋ごと汚染された気管チューブ等を破棄してください。

③ 使用後

使用後は患者様ごとに洗浄し、消毒・滅菌を徹底してください。使用後の不十分な消毒により、交差感染を引き起こす可能性があります。

<消耗品>

フレーム本体へのセッティングが容易となる専用ポリ袋を準備しております。

<お問い合わせ窓口>

協同組合 HAMING

事務局 中嶋裕嗣

〒435-0028 静岡県浜松市南区飯田町1 5 5

e-mail : contact@co-op-haming.jp (お問い合わせはメールでお願いいたします。)

備考) 本製品は、国立大学法人浜松医科大学様とのコラボによるものです。

より専門的なご質問等につきましては、HAMING より専門医に問い合わせさせていただきます、ご回答させていただきます。

また、本製品は製品改善のため、予告なしに仕様変更を行う場合がございます。ご承知おきくださるようお願いいたします。

Ver.1 2020/5/7